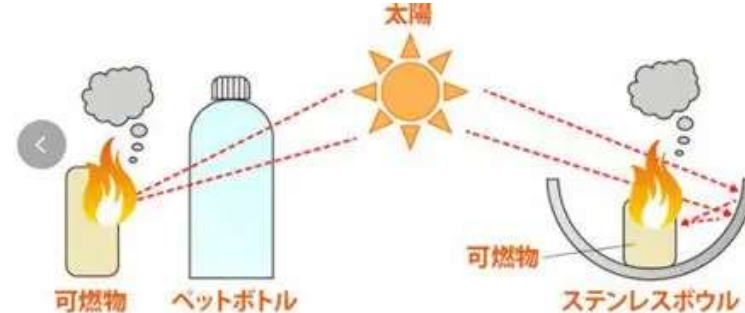


冬場に多い 収れん火災

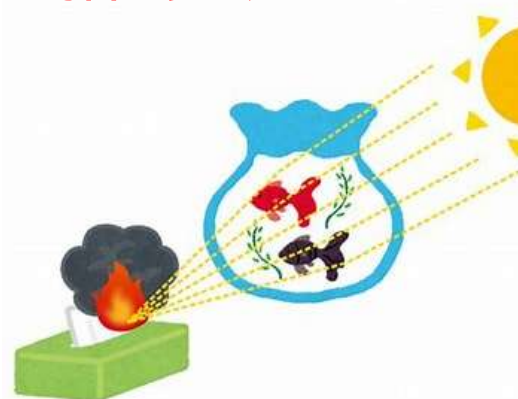
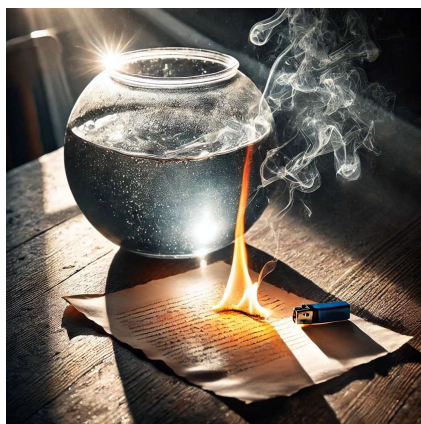


収斂(しゅうれん)火災とは、太陽光が身近な日用品などに反射や屈折し、一点に集中した太陽光が可燃物を発火させる火災

サスペンスやトリックではなく、火災は毎年数件は起き、無視できません

収れん火災は、①**太陽光** ②**太陽光を屈折(または反射)させる物** ③**可燃物** で発生

太陽の高度が低くなって部屋の奥まで光が差し込む
冬場の10時台から15時台に多く発生



【収れん火災の対策とは?】
～原因や注意点について～

収れん火災とは
光が一点に集まることで発火する現象のこと

収れん火災を防ぐ方法

- カーテンは隙間なくしっかりと閉める
- 光を反射する物を太陽が差し込む場所に置かない
- 光を反射する物に明るい色の布をかぶせる
- 燃えやすい物は収納しておく



凹面鏡(メイク用ミラー)・虫眼鏡(ルーペ)・眼鏡・ステンレス製ボール
液体が入ったペットボトルや水槽・ガラス玉・透明の吸着盤(特に車)
その他、焦点を結ぶ曲線の有る物体



参考データ：消費者庁